

2026年 6 月25日 岩手県沖の地震

(1) 概要

2026年 6 月25日07時30分に岩手県沖の深さ44kmでM7.2の地震が発生し、青森県階上町で震度 6 強を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度 6 弱～ 1 を観測した。また、北海道から関東地方にかけて長周期地震動階級 2 ～ 1 を観測した。この地震により、岩手県の久慈港^(注1)で16cmなど青森県と岩手県の太平洋沿岸で津波を観測した^(注2)。

気象庁はこの地震に対して、地震波検知から4.7秒後の07時30分26.5秒に緊急地震速報（警報）を発表した。

この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

今回の地震の震央周辺では、6月25日以降 6月30日までに震度 1 以上を観測した地震が21回（震度 6 強：1回、震度 5 弱：1回、震度 4：1回、震度 3：2回、震度 2：1回、震度 1：15回）発生するなど、地震活動は継続している。

この地震により、負傷者17人などの被害が生じた（2026年 7 月 6 日14時00分現在）。

この地震による被害状況を表 1－1 に、6月25日以降の最大震度別地震回数表を表 1－2 に、震度 1 以上の日別地震回数グラフを図 1－1 に、主な地震活動の地震回数比較を図 1－2 に、気象庁及び各地の気象台が発表した主な情報及び報道発表を表 1－3 及び表 1－4 に示す。

表 1－1 岩手県沖の地震による被害状況^(注3)
(2026 年 7 月 6 日 14 時 00 分現在、総務省消防庁による)

都道府県名	人 的 被 害				住 家 被 害		
	死者	行方不明者	負 傷 者		全壊	半壊	一部破損
			重傷	軽傷			
	人	人	人	人	棟	棟	棟
青森県			1	14			45
岩手県			2				8
合 計			3	14			53

(注 1) 国土交通省港湾局の観測施設。

(注 2) 観測値は暫定値。

(注 3) 6 月 25 日 07 時 30 分の岩手県沖の地震による被害、及び 6 月 28 日 05 時 21 分の岩手県沖の地震による被害の両方を含む。

表1ー2 4月20日からの三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動の最大震度別地震回数表

震度1以上の最大震度別地震回数表(2026年4月20日16時～7月8日24時)
(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

【令和8年4月20日16時以降の月別発生回数】

月別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
4/20 - 30	27	7	3	0	0	1	0	0	0	38	38	16時以降	
5/1 - 31	12	3	1	0	0	0	0	0	0	16	54		
6/1 - 30	19	3	2	1	1	0	0	1	0	27	81		
7/1 - 8	5	2	2	1	0	0	0	0	0	10	91		
総計	63	15	8	2	1	1	0	1	0	91			

【令和8年6月25日以降の日別発生回数】

時間別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
6/25	8	1	0	1	0	0	0	1	0	11	11		
6/26	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	13		
6/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13		
6/28	3	0	0	0	1	0	0	0	0	4	17		
6/29	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18		
6/30	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	21		
7/1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	23		
7/2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	24		
7/3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	26		
7/4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	27		
7/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27		
7/6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	28		
7/7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	29		
7/8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	31		
総計	20	3	4	2	1	0	0	1	0	31			

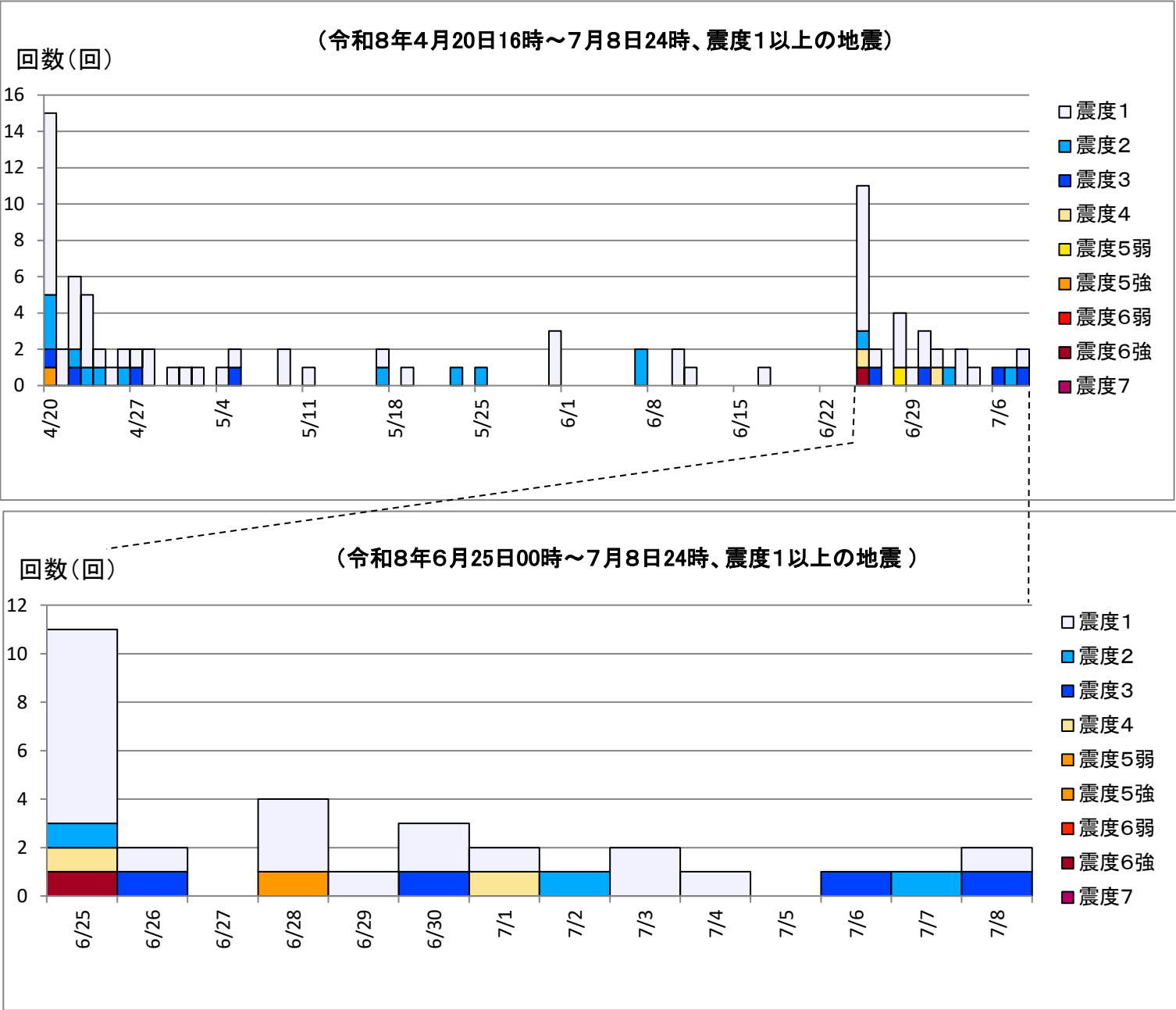


図1ー1 4月20日からの三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動の最大震度別地震回数

気象庁作成

(2) 地震活動

ア. 地震の発生場所の詳細及び地震の発生状況

6月25日07時30分に岩手県沖の深さ44kmでM7.2(最大震度6強)の地震が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の地震の震央周辺では、2025年11月4日から三陸沖でまとまった地震活動が見られるようになり、2025年11月9日にM6.9の地震(最大震度4)が発生した。また、M6.9の地震の北西側で2026年4月20日にM7.7の地震(最大震度5強)が発生し、地震活動域がさらに北西側に広がった。今回の地震は、これらの活動域の北西端で発生しており、今回の地震の震源付近では、6月28日にM6.1(最大震度5弱)の地震が発生するなど、活発な地震活動は継続している。なお、領域aの北側では、2025年12月8日に青森県東方沖でM7.5(最大震度6強)の地震が発生するなど、地震活動が見られている。

1994年12月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、1995年1月7日にM7.2(最大震度5、「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」の最大余震)の地震が発生している。

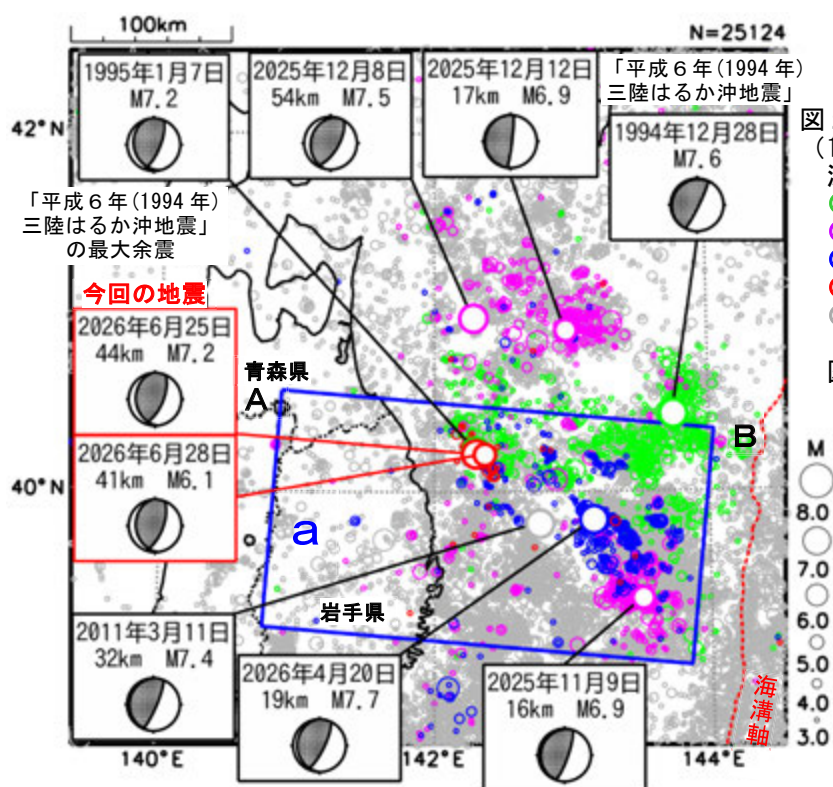


図2—1 震央分布図
(1994年12月1日～2026年6月30日、深さ0～140km、 $M \geq 3.0$)
 〇 1994年12月1日～1995年1月31日
 〇 2025年11月1日～2026年4月19日
 〇 2026年4月20日～2026年6月24日
 〇 2026年6月25日以降
 〇 その他の期間

図中の発震機構はCMT解を示す

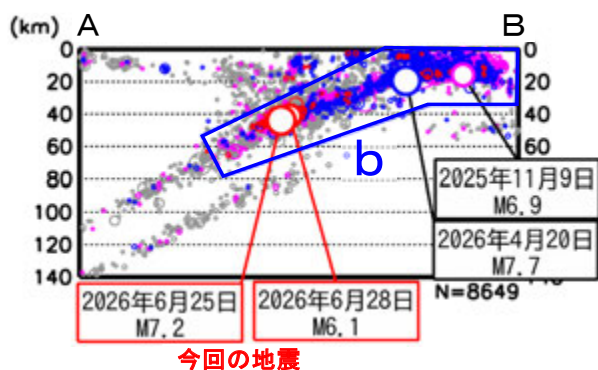


図2—2 領域aの断面図(A-B投影)
(2020年9月1日～2026年6月30日、深さ0～140km、 $M \geq 2.0$)

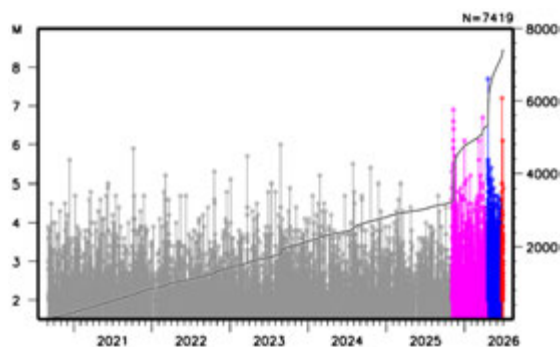


図2—3 領域b内のM-T図
及び回数積算図

イ. 発震機構

1997年10月以降に発生した地震の発震機構（CMT解）分布及び発震機構の圧力軸の分布を図2-8に示す。また、図2-8の領域d内の地震の発震機構の型の分布及び圧力軸の向きの分布を図2-9に示す。

今回の地震の震央付近では、逆断層型の地震が多く見られ、発震機構の圧力軸の向きは西北西－東南東方向の地震が多い。今回の地震（M7.2）は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、これまでの地震の傾向と調和的である。

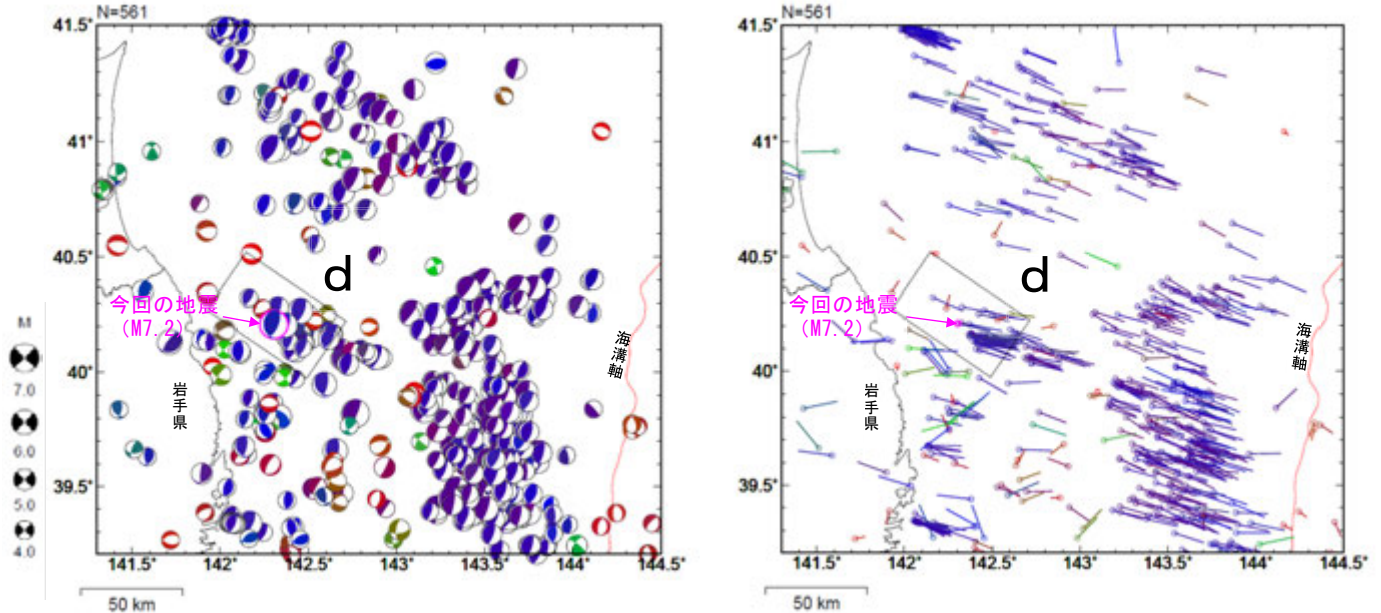


図2-8 発震機構分布図（左）、発震機構の圧力軸の分布（右）

期間：1997年10月1日～2026年6月30日、深さ：0～100km、 $M \geq 4.0$ 、発震機構はCMT解による（震源の位置に表示）。逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich（2001）による分類）。

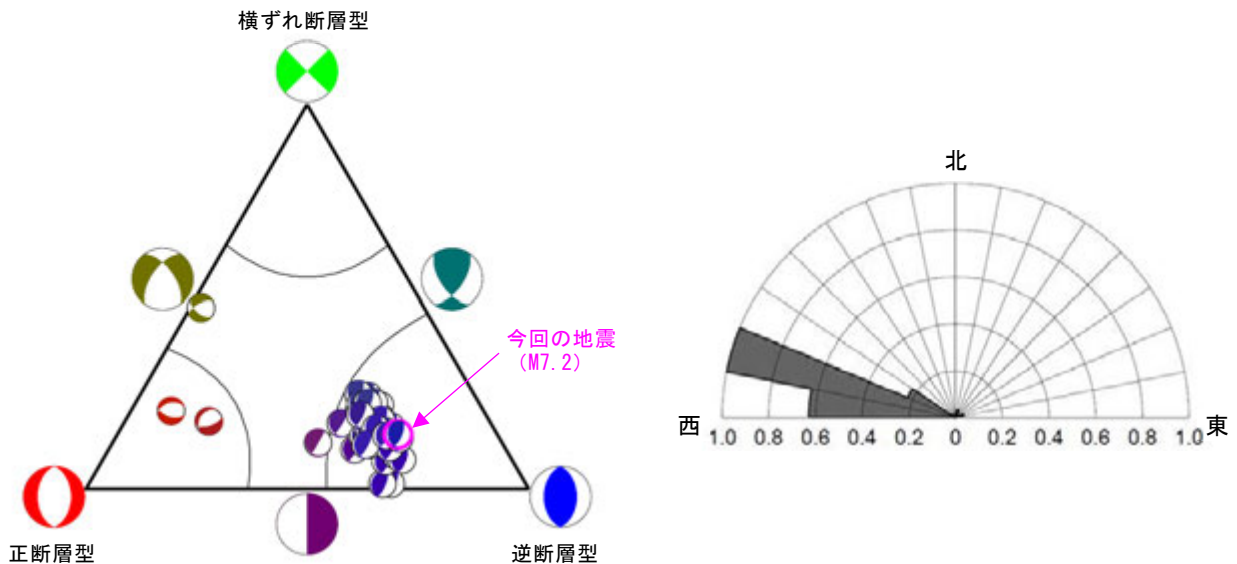


図2-9 図2-8の領域d内の地震の発震機構の型の分布（左）及び発震機構の圧力軸の方位分布（右）
発震機構の型の分布は、逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich（2001）による分類）。

2026年 6 月25日 岩手県沖の地震で観測した津波

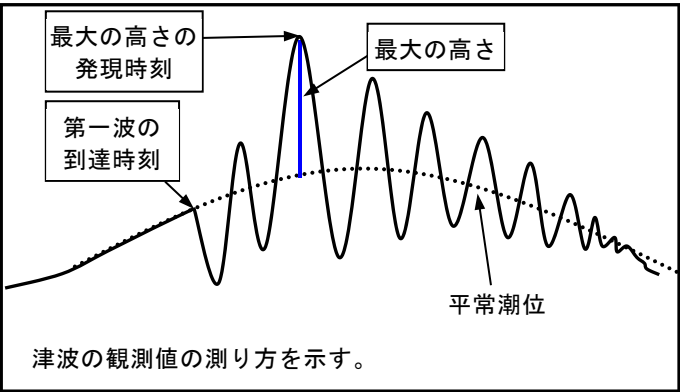
岩手県の久慈港（国土交通省港湾局）で16cmの津波を観測するなど、青森県と岩手県の太平洋沿岸において津波を観測した。なお、気象庁はこの地震に対して、6月25日07時39分に北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸及び岩手県に津波予報（若干の海面変動）を発表した。津波観測値（暫定値）は以下のとおり。

津波観測値（2026年 6 月25日、暫定値）

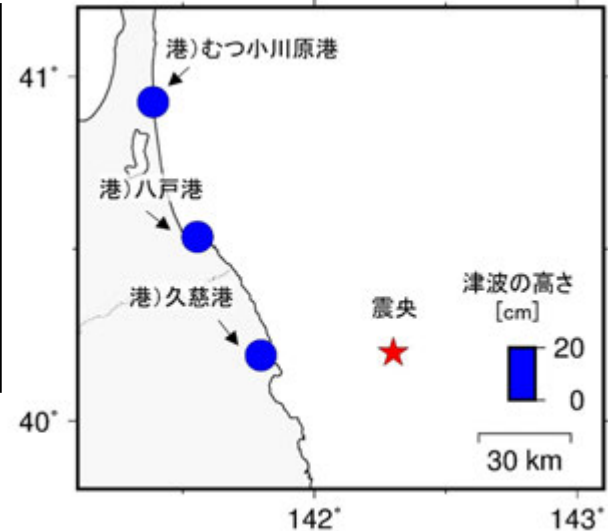
都道府県	観測点名	所属	第一波			最大波			
			到達時刻			発現時刻			高さ [cm]
			日	時	分	日	時	分	
青森県	むつ小川原港	国土交通省港湾局	25	07	57	25	09	01	5
	八戸港	国土交通省港湾局	25	-	-	25	10	25	8
岩手県	久慈港	国土交通省港湾局	25	07	53	25	09	28	16

-は値が決定できないことを示す。

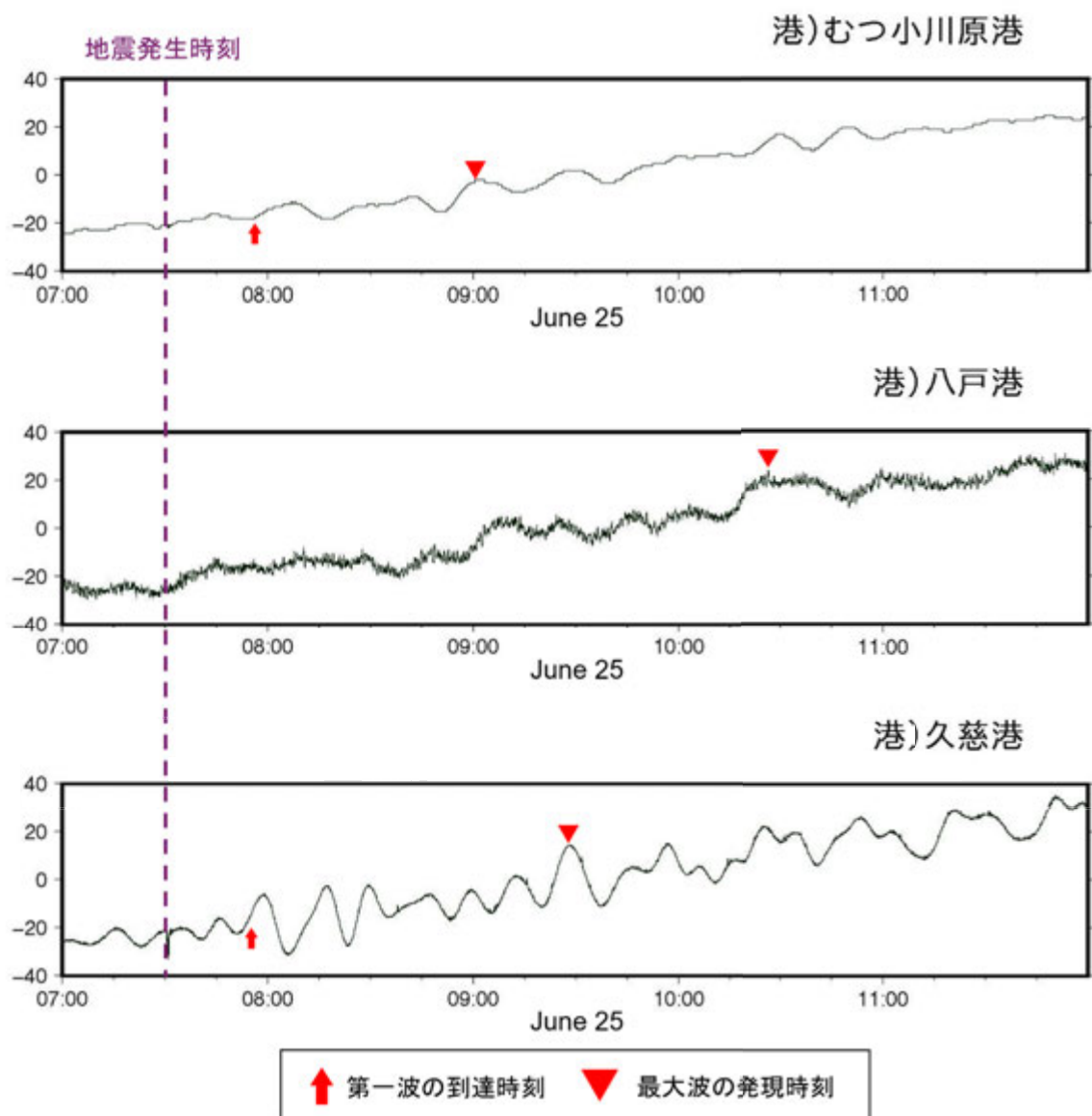
観測値は、所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。精査により変更される場合がある。



津波の測り方の模式



津波を観測した地点
港)は国土交通省港湾局の所属であることを示す。



津波波形（2026年6月25日07時から12時まで）
縦軸の単位は cm。港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す。

7月1日、14日 岩手県沖の地震

(2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動)

2026年7月1日21時08分に岩手県沖の深さ40kmでM6.1の地震(最大震度4、今回の地震①)が発生した。また、7月14日17時07分にほぼ同じ震央の深さ39kmでM5.0の地震(最大震度3、今回の地震②)が発生した。これらの地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。これらの地震の発震機構(CMT解)は東西方向に圧力軸を持つ型である。

2020年9月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2025年11月4日からまとまった地震活動が見られるようになり、11月9日にM6.9の地震(最大震度4)が発生した。その後、この地震の北西側で2026年4月20日にM7.7の地震(最大震度5強)が発生すると、地震活動はさらに活発となった。さらに2026年6月25日にはM7.2の地震(最大震度6強)が発生し、その近傍で今回の地震が発生した。

2025年11月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、2026年4月20日に発生したM7.7の地震以降、地震活動域が北西側に広がっている。この活動域の北西端で2026年6月25日にM7.2の地震が発生し、その後1週間以内にM6.0以上の地震が2回発生した(6月28日M6.1、7月1日M6.1)。領域cでは、2026年7月1日から31日までに震度1以上を観測する地震が17回(震度4:1回、震度3:3回、震度2:3回、震度1:10回)発生するなど、活発な地震活動が継続している。

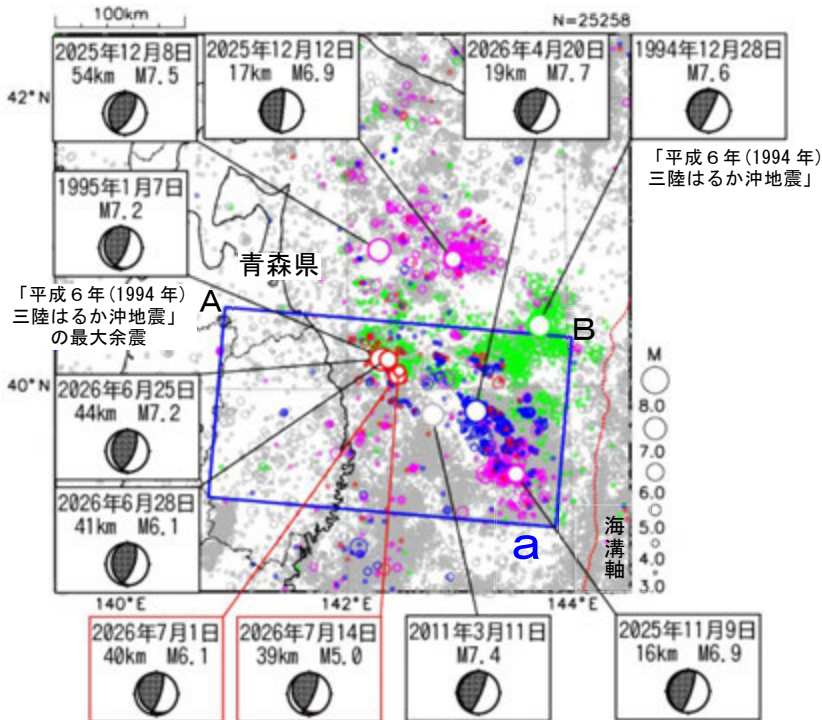
1994年12月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、1995年1月7日にM7.2の地震(最大震度5、「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」の最大余震)が発生している。

震央分布図

(1994年12月1日～2026年7月31日、深さ0～140km、 $M \geq 3.0$)

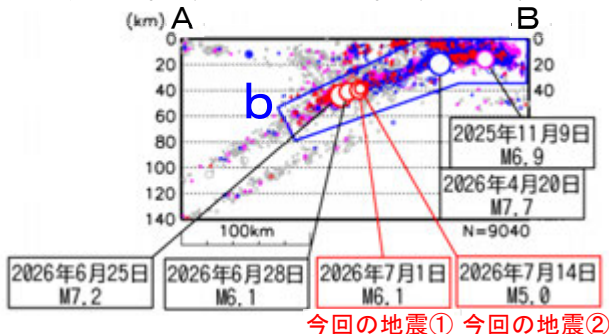
- 1994年12月1日～1995年1月31日 ○ 1995年2月1日～2025年10月31日
- 2025年11月1日～2026年4月19日 ● 2026年4月20日～2026年6月24日
- 2026年6月25日以降

図中の発震機構はCMT解を示す



今回の地震① 今回の地震②

領域a内の断面図 (A-B投影)
(2020年9月1日～2026年7月31日、 $M \geq 2.0$)



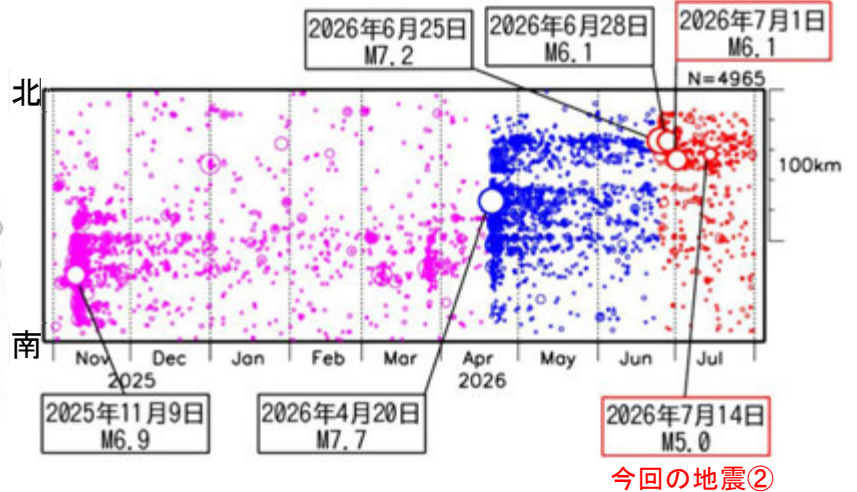
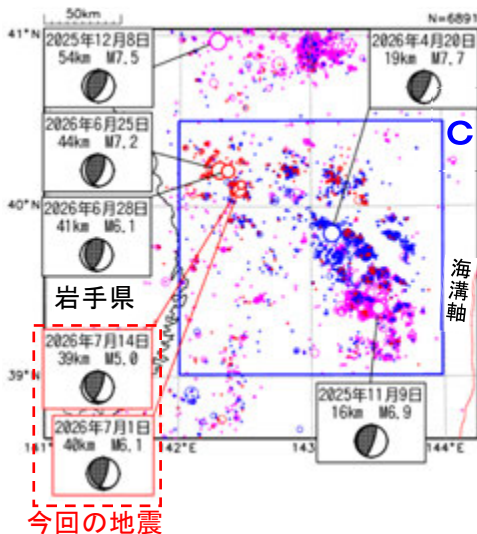
震央分布図及び領域 c 内の時空間分布図
(2025年11月1日～2026年7月31日、
深さ 0 ～80km、 $M \geq 2.0$)

- 2025年11月1日～2026年4月19日
- 2026年4月20日～2026年6月24日
- 2026年6月25日以降

図中の発震機構はCMT解を示す

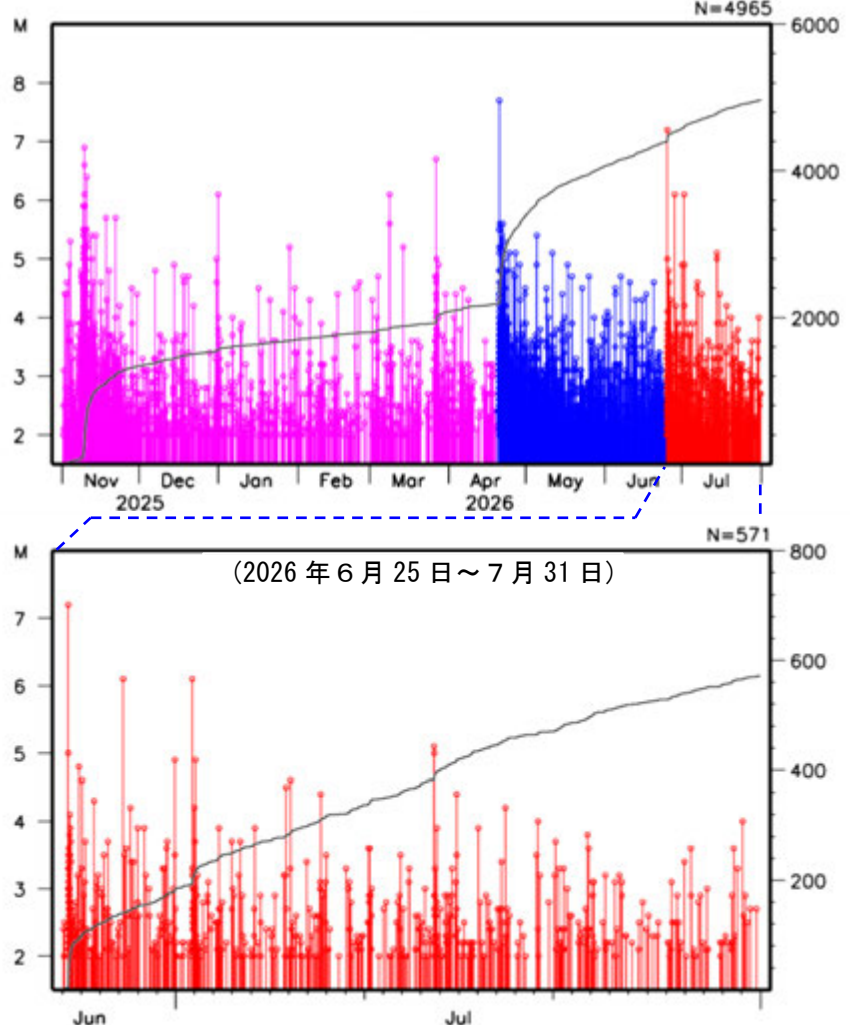
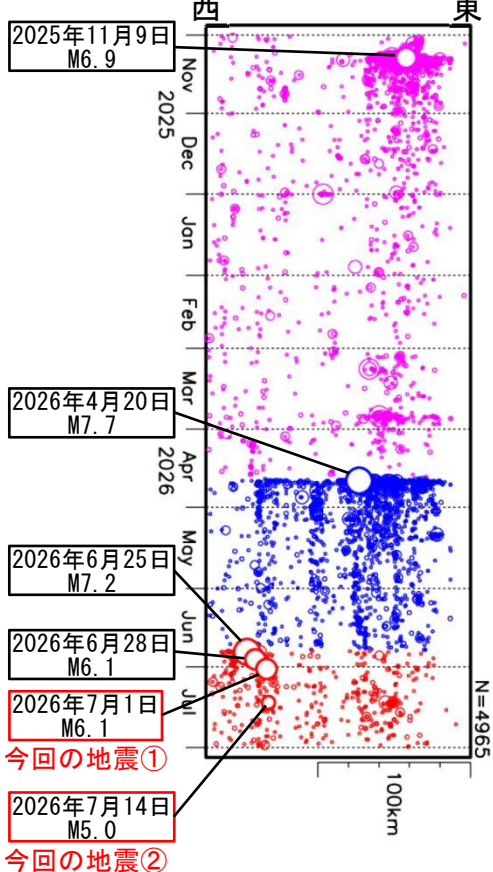
(南北投影)

今回の地震①

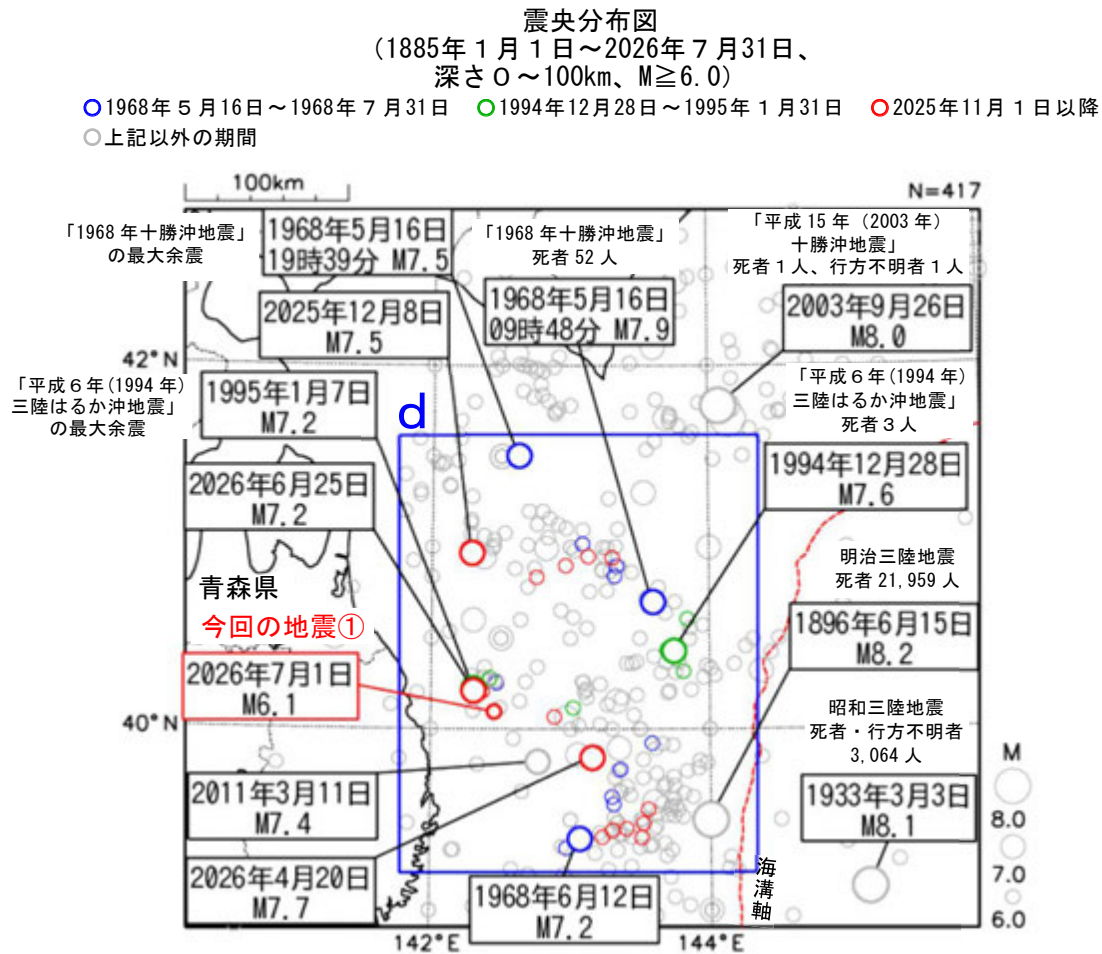


(東西投影)

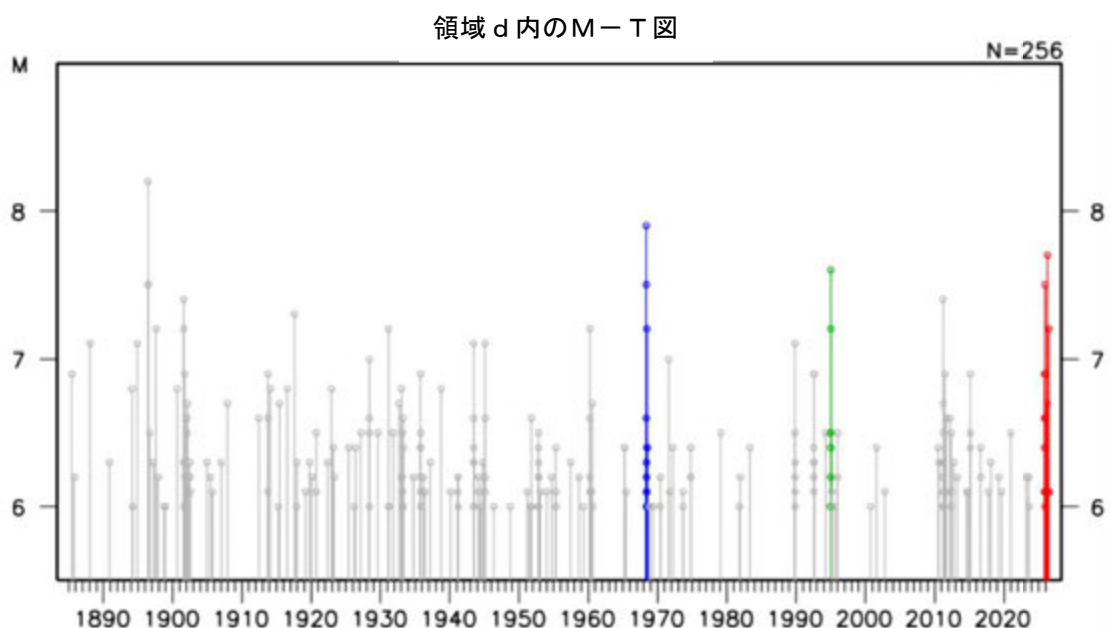
領域 c 内の M-T 図及び回数積算図



1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）は、M7を超える規模の大きな地震が度々発生するなど、地震活動が活発な領域である。1896年6月15日にはM8.2の地震（明治三陸地震）が発生し、死者21,959人などの甚大な被害となった（被害は「日本被害地震総覧」による）。



震源要素は、1885～1918年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による※¹。
被害は、「日本被害地震総覧」による。



※¹ 宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，57，401-463，1982。
宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642，1985。
茅野一郎・宇津徳治，日本の主な地震の表，「地震の事典」第2版，朝倉書店，2001，657pp。